

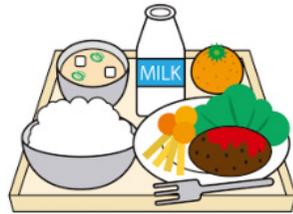


河合がっぺいの子育て応援

保育・学校の給食費を無料に！

給食費は子育て世帯の大きな負担となっています。愛西市ではコロナ対策として学校給食費が延べ18か月無償化されました。さらに令和4年4月から10月まで無償化されます。

学校・保育所の給食を無償化し、安心して子育てができる愛西市を目指します。



市独自にスクールカウンセラーを配置！

昨年11月24日に弥富市で起こった生徒殺傷事件には、大きな衝撃が走りました。

愛西市でも「子供がいじめられているようだ。家に帰っても様子が変で心配だ」という相談があり、生徒も保護者も心が不安になっています。市独自にカウンセラーを配置し、いつでも相談できるよう求めています。



古くて危ない校舎の改善を！

愛西市の小中学校は昭和40年代から50年代に整備され、ほとんどの学校がバリアフリー化されておらず、新築は1校、大規模修繕は1校しか行っていません。

順次、改築・改修していく計画を立て、安心安全な学習環境を整えるためにも早急に直していく必要があります。



学校の雨漏

道の駅の整備に 35億円！



道の駅の拡幅計画になんと！35億円もの事業費がかかります。

バーベキュー広場やハス池などが作られるようですが、近くにはバーベキューのできる木曾三川公園や、ハスや桜が咲き誇る船頭平公園などがあり、35億円もかけてまで整備する必要があるのでしょうか。

それよりも先に、学校の老朽化対策をしたり、給食費の補助や大学の学費の軽減、学校環境・子育て環境を充実を最優先するよう求めつづけます。

高すぎる大学の学費！ 市独自の学費補助を求めます！

日本の大学の学費は世界でもトップクラスです。私学では、初年度平均130万円ほどかかり、4年大学では約500万円～600万円ほどかかります。現代ではおよそ半数の子どもが奨学金で学費を払っており、社会に出る時にいきなり多額の借金がある状態です。

このような中で、晩婚化が進み、少子化社会が加速しています。日本共産党は大学の学費を半分にするを国の政策として行うことを求めています。

飛島村では、年間30万円も大学の学費補助(給付型奨学金)があります。

愛西市でも、高すぎる大学の学費を補助するため、給付型奨学金の創設を求めています。

保育園／学校の統廃合をやめ、子育ての環境を守ります！

駅に近く、人口増加地域にある佐屋北保育園の廃園に反対です。

小中学校の統廃合をやめ、小さな学校を守り、小規模校、少人数学級を実現し、子どもが一人ひとり大切にされる教育を目指します。



愛西民報

2022年4月号外 発行 日本共産党愛西市委員会 TEL28-3868
日本共産党の活動・見解と愛西市の出来事を紹介します